

イ B校第3学年の授業の実際

9月の実践の成果と課題を振り返って、生徒の実態を踏まえながら「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業づくりのチェックリストを用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料1）。9月に成果のあった教師の手立てを継続して取り入れ、課題が残った〔課題追究〕の項目の「複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させていない」、新たに〔課題解決〕の項目の「次時や次の単元につながる新たな問いを見いださせていない」ことについて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表から必要と思われる手立てを選択しました（資料2）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時の学習課題を設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元を貫く学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題についてノートやワークシートなどにまとめさせている	✓	C②③
生徒と共に単元を貫く学習課題を設定している	✓	A③	複数の資料を基に多面的・多角的に考察させている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している	✓	C④
単元の見通しを持たせている	✓	A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら話し合わせている	✓	B⑤	結論について他の生徒と話し合わせている	✓	C⑤⑥
予想や仮説を立てさせている	✓	A⑤	複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させている		B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い(課題)を見いださせている		C⑦

資料1 10・11月のB校第3学年の教師の指導の自己評価

	課題把握		課題追究		課題解決 新たな課題	
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する</li> <li>・社会的事象等を知る</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する</li> <li>・学習課題を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見通しを持つ</li> <li>・予想や仮説を立てる</li> <li>・学習計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる</li> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>・他の生徒と情報を交換する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する</li> <li>・多面的・多角的に考察する</li> <li>・話し合う(討論等)</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する</li> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる</li> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>・結論について、他の生徒と話し合う</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する</li> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする</li> </ul>
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時の学習課題を設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いを持たせ、単元を貫く学習課題を設定する</p> <p>A③ テレビのニュースや新聞等を利用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、ゴールをイメージさせる</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージさせる</p>		<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から考えさせる</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモさせる</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる</p>		<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめさせる</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示させノートやワークシートにまとめさせる</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返らせる</p> <p>C⑤ 結論についてグループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめさせる</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげる</p>	

資料2 10・11月のB校第3学年の教師の指導の自己評価を踏まえて取り入れた手立て

〔課題追究〕について、「複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断させていない」ことについては、前頁資料 2 の B⑥の「グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる」の手立てを取り入れることにしました。また、〔課題解決〕について、「次時や次の単元につながる新たな問いを見いださせていない」ことについては、C⑦の「自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげる」の手立てを取り入れることにしました。これらの手立てと、7月から9月までの実践で成果のあった手立て（A③④⑤、C⑥）を継続して取り入れ、以下のように授業の質的改善を図りました。

**単元の指導計画**

過程	生徒の主な学習活動	教師の働き掛け (○)、手立て (◆)	時配
課題把握	○単元を貫く学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	◆「日本と外国の投票率の比較」「日本の年代別投票率の推移」から投票率の低下に気付かせ、「棄権者の理由」を基にして、生徒とともに問いを設定する。単元計画と評価規準を示し、単元の見通しと評価方法に関心を持たせる。 <b>【A③④⑤】</b>	1
	〔単元を貫く学習課題〕 若者の投票率を上げるための手立てを考えよう		
課題追究	○国の政治、マスメディアとの関わり、選挙制度について、基本的な学習内容をまとめる。  ○単元を貫く学習課題に関する資料を読み、メリットとデメリットをまとめ、主張を作るために身近な大人の協力を得て必要な情報を集める。  ○グループでアイデアを出し合い、問いに対する立場を決め、発表原稿を作る。	◆個人での調べ学習やグループ学習で話し合い活動を行い、学習プリントに基礎的な内容をまとめさせる。 <b>【B⑥】</b>  ◆外国の選挙制度や日本の選挙制度について補助資料を読み、必要な情報を選択させてワークシートにまとめさせる。 <b>【B⑥】</b>  ○身近な大人の考えを取材させる。  ◆グループで一つの手立てを決めて、全員で話し合いながら発表原稿の内容を考えさせる。 <b>【B⑥】</b>	5
課題解決	○パブリック・ディベートを行い、最終的な自分の意見文を書いて、考えをまとめる。	◆教師が司会を行い、相手を打ち負かすことを目的とせず、協力してよりよい手立てを考えさせる。 <b>【C⑥】</b>  ◆提案したことに対する最適な手立てを投票して決めさせる。 <b>【C⑦】</b>	1 (本時)

**実践事例② 「国民として国の政治を考えよう」(7/7)**

**本時の目標**

18 歳～20 歳の投票率の低下について、その背景を理解した上で低下を防ぐ手立てを様々な立場から提案させ、日本の選挙の投票率を上げるための手立てを考えることができるようにする。

**本時の授業の様子**

学習活動	教師の働き掛け (○)、手立て (◆)
○司会の説明を聞き、学習の見通しを持つ。	○同じ提案(考え)を持つ生徒同士でグループ(政党)を作らせ、配置した。 ○単元を貫く学習課題を示し、全員で問いに対するよりよい手立てを考えていくことを確認した。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     [単元を貫く学習課題] 若者の投票率を上げるための手立てを考えよう                 </div>	
○手立てを提案する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         各政党(グループ)の提案の要点                          A 党: 投票すると、サービスを受けることができる「選挙割」を実施する。                          B 党: 身近な場所に「期日前投票所」を設置する。                          C 党: 投票を「義務化」する。                          D 党: 「主権者教育」を早期から実施する。                          E 党: インターネット上での「オンライン投票」と被選挙権年齢の引き下げを実施する。                          F 党: 同年代の若者による呼びかけする。                     </div>	○「問いの原因」「提案の要点」「提案の長所と短所」をワークシートに示した書き方に沿って発表させた。 
○質問・意見交換のための準備を行う。	○相手の手立てについて、よりよい提案になるように質問や代替案の意見を6分間考えさせた。 ○机間指導しながら提案に対して疑問に思ったことを探させた。 ○相手の提案に対して、質問や建設的な意見を言うことを再確認した。 ○質問に対する答えをその場で回答させた。 
○質問・意見交換を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         A 党: 「選挙割」が適用されるのは全ての店舗なのか。                          B 党: 身近なところではなく、人が多く集まる場所に設置した方が良い。                          C 党: 「義務」に違反した場合、どうなるのか。                          D 党: 主権者教育は、いつから取り組むのか。                          E 党: オンライン投票は、個人情報が出たり、情報が書き換えられたりされる心配がある。対策は十分なのか。                     </div>	○一つの質問に対し、関連した質問があるか、確認しながら質疑応答を行わせた。 ○根拠のない意見や質問は、根拠を示すように伝えた。

○質問と意見を基に、提案の修正を行う。

○修正した手立てを再提案する。

- A 党：「選挙割」店舗のリストは作成しないが、店の前にポスターを貼る。
- B 党：人が多く集まりやすい商業施設に投票所を置く。
- C 党：義務化に対する罰則は設けないが、厳重注意を法制化する。
- D 党：小・中・高で主権者教育と新聞社による講習会を実施する。
- E 党：セキュリティを整えたスマホ向けのアプリを開発する。

○教師の話聞く。

○パブリック・ディベートで話し合ったことを基に、最適だと考える手立てを記述する。

○パブリック・ディベートで話し合ったことを基に最適だと考える手立てに投票する。

○自分たちの手立てへの質問や意見で得られたことを取捨選択し、手立てを再考させた。

○ホワイトボードに再考した内容を記入し、黒板に貼らせた。

○加筆修正した政党（グループ）には、変更した部分を説明させた。



◆提案した手立ては、全て「投票率低下」を解決するためには必要なことであり、今後期待されている手立てであることを話した。その上で、自分たちで問題に向き合い、解決に向けて話し合うことの大切さを伝えた。 【C⑥】

○授業全体を振り返り、個人の立場に戻って、提案の中で最も効果が期待できそうな手立てを、自分なりの根拠を示して記述させる。



◆手立ての提案の中で最も効果が期待できそうなものを選び、投票を行った。投票は、政党名に○を付けさせた。 【C⑦】

本時の成果と課題 (○成果、●課題)
--------------------

(1) 教師の手立てが、「主体的・対話的で深い学び」の視点から図られていたか。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートに合わせた書き方に示して発表原稿を記述させたことにより、論理的に考えることでできていました。</li> <li>○提案を発表する場面では、全体への発表を通じて、自分たちのグループと他のグループとの比較を行い、学習課題に対する多様な考えに触れることができていました。</li> <li>○質問や意見を考える場面では、同グループ内で検討する中で質問内容や意見内容の共有化を図ることができていました。</li> <li>○質疑応答の場面では、他のグループからの質問や意見を受けの中で自分のグループの提案した内容をより詳しく考えることができていました。</li> <li>○投票の場面では、グループの考えを離れて、個人の立場から問いについて再考し、最適な提案を選ぶ中で、学習課題に対する個人の考えを深めることができていました。</li> </ul> |
|--|

(2) 教師の手立てが、生徒の資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成につながっていたか。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの既習事項である「期日前投票」「被選挙権年齢」「三大義務」「主権者教育」などに関する知識を用いて、多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、議論したりできていました。</li> <li>●質疑応答では、建設的な意見が少なく質問が多かったため、よりよい提案にするという話し合い活動からややずれが生じていました。</li> </ul> |
|--|